

いのちの森づくり 2020 植樹祭実施レポート

団体名	株式会社山田養蜂場	
活動名	ネパール国チャカンドールの自然林再生 2019 宮脇方式による鎮守の森再生	
実施日	2019年7月6日（土）	
実施場所	チャカンドール（ネパール）	
実施状況	参加人数	約 100 名
	植樹本数	1,500 本
	植樹樹種	サクラ、チャンパカ、ムクロジ、シマトネリコなど 6 種
	指導先生の参加の有無	有り（藤原一繪教授）
	実施内容・イベント	在ネパール日本国大使館後援のもと、特命全権大使・西郷 正道氏ご夫妻をはじめ、日本からは山田養蜂場従業員を中心とした 22 名、ネパールからは森林管理署、チャカンドールフォレストコミュニティ、The Celebration Co-Ed の生徒・先生ら約 70 名が参加し、チャカンドールの荒地に 1,500 本を植樹した。
	活動の狙いや工夫等	7月4日（木）に藤原先生によるリーダー研修が行われ、ネパールと日本のリーダーに植樹方法の指導が行われた。また、7月5日（金）には藤原先生と、植物生態学者のスベディ先生による宮脇方式の植樹方法や植樹の必要性、ネパールの植物環境について講義をいただき、理解を深めることができた。
	特記事項 （参加者の声など）	<ul style="list-style-type: none"> ・西郷特命全権大使より。「日本と似て、土砂災害や洪水が発生しやすい地形のネパールでは、樹木は災害対策としても効果的。この活動がネパールの環境保全或いは災害防止の一助になることに加え、日本とネパールとの友好関係が、木のように大きく育っていくことを願います。（要約）」 ・森林管理署責任者ラム氏より。「木は植えるだけでなく、成長のために世話をしていく必要がある。今後はカトマンズ森林管理署、フォレストコミュニティ、学生、皆が協力し、植樹と育成を行なっていきます。（要約）」 ・講義に参加した学生たちは、熱心にメモを取り、植樹の大切さや植物生態学について学び取ろうとする姿勢が印象的だった。植樹祭当日も一生懸命に木を植えており、大変心強かった。 ・雨は降らなかったが、逆に暑さで植樹活動には厳しい日だった。木陰などがない場所なため、タープなどの日よけのある休憩スペースの必要性を感じた。 ・スムーズな進行のためにも、今後、リーダー研修への参加者を

できるだけ増やすことで、さらに参加者一丸となった植樹活動ができるようにしていきたい。

活動写真



	担当者連絡先	〒708-0393岡山県苫田郡鏡野町市場194 株式会社山田養蜂場文化広報室樋上進 ☎0868-54-1906 E-mail sh0982@yamada-bee.com
--	---------------	--